

平成28年度専門家派遣事例

支援課題：新連携

平成29年2月

目次

都道府県	支援元機関名		ページ
	企業名	支援テーマ	
長崎県	ながさき経営支援プラットフォーム / 長崎県中小企業団体中央会		1
	わかめや本舗 daiana	食料品卸売事業者のわかめ袋詰め作業の外部委託支援	

支援体制

専
門
家

峰松 弘子 氏

支援

企
業

わかめや本舗 daiana

業種：卸売業、小売業

従業員：0人

資本金：- (万円)

創業：平成26年

住所：長崎県長崎市かき道3-21-21

企業概要：海産物仲買い・販売

支援依頼

地
域
P
F

ながさき経営支援プラットフォーム

相談

機
関
成

長崎県中小企業団体中央会

支援概要

支援の経緯

本企業は創業3年目の長崎市の食料品卸売業者である。事業主が東日本大震災後、東北の復興支援に参加した際に、被災地で出会った方が、経済的な自立を目指し東北産わかめの販売を行っていたが、販路開拓を希望していると聞き、長崎県にて当該わかめを販売しようと創業した。しかし、当該生産者が高齢になったことから袋詰め作業が困難になってきたとのことで、袋詰め作業を長崎の福祉事業所で外部委託できないかと考えた。これは、障がい者が就労する福祉事業所で請け負ってもらうことにより、生産者と障がい者双方の経済的自立を少しでも助けたいとの思いからであったが、外部委託を実施するための具体的な手法がわからなかったことから、当機関に相談があった。

派遣元機関による経営課題の特定とアプローチ

本企業にヒアリングしたところ、本企業の事務所から近く、袋詰め作業を行う上で安全性と衛生面に配慮した設備が整っている福祉事業所を選定する必要があることが明確になった。しかし、当機関には福祉事業所についての専門家がなかったことから、ジョブマッチング及び福祉事業所への外部委託等に詳しい本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まずは、商品の仕入先、販売先、委託業務内容について確認した。次に一袋当たりの工賃、販売価格、請負頻度などを確定したうえで、当該袋詰め作業の委託先として「NPO法人障害者就労支援センターアビリティ」を選定した。

また、良質の商品をより多くの方に提供する方法として、小袋での販売とするよう助言し、小袋のデザインも同NPO委託し、長崎市が運営する障がいのある方々が製作した品を販売する「チャレンジドショップはあと屋」などの各種イベントでも販売するよう提案した。



袋詰めわかめ商品

成果

支援によって、福祉事務所へ袋詰め作業及び小袋デザインの外部委託が実現した。また、各種イベント等に出品したこと等により、わかめの販売先や販売量は、支援をする前と比べ約1.5倍に増えた。さらに、わかめ以外の、昆布のみそ漬けや茎わかめの佃煮など、新商品開発の構想も広げることができた。同NPOでは、かまぼこなどおでんの材料になる食材も製造しており、内容の充実を図るため本企業が昆布を提供するなど新たな事業展開も検討しており、今後も引き続き、被災地の復興及び障がい者の経済的自立の一助となることが期待される。

専門家の声

氏名：峰松 弘子

保有資格：キャリアコンサルタント

職場適応援助者（ジョブコーチ）

専門分野：ジョブマッチング・コンサル

専門家の声：支援をする際、事業主の思いを大切にアドバイスをした。また、東北の復興・障がい者の経済的自立という社会貢献事業であるので事業継続・売上増加を第一に考えた。



事業者の声

震災からの経済的自立と障がいという困難があっても自ら働いて経済的自立を望んでいる人のために、仕事を創り出したいという思いを受け止めてくださり、福祉事業所でできることを提案してくださったことに感謝しています。

今までは自分でできる範囲での事業展開を考えていましたが、今後は福祉事業所でできる仕事は外部委託し、販売促進にも力を入れ、さらなる事業拡大・売上増加を目指したいと考えます。

専門家プロフィールURL（プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。）

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0035F0000t5rUWQAY>